のりちゃんマーうろしぇ

信愛幼稚園園長通信NO.10
2024年10月21日
発行： 横田 法子

夏期休業を活用して職員は様々な研修に参加します。2学期に向けて、それぞれが学んだことをどのように実践に生かして行くか考え、8月末の職員会議でシェアしてもらいました。2学期も折り返し地点にさしかかり、研修や職員会議が生かされているだろうかと思い、発表を書き留めたノートを見返してみました。ところどころくるっとマルで囲んだところを書き出します。

「待つ」「楽習」「わくわくをつくる」「こども同士に託す」「環境づくりに徹する」「こだわり←広げるべき本人の強み」「見守る」「決めつけない」「ありのままの成長段階を見守る」「五感で学ぶ」「困りごとに気付く」「あきらめずに方法を探す」「一人一人の姿」「やりたいなーを引き出す」「心の中でおきていること」「気持ちや心をつぶすNG声がけ」「プロセスの中で起きている育ちの姿をみてあげる」「こどもの言葉を次にどうつなげるか」

夏休みの体験と運動会の取り組みを経て、それぞれにそれぞれの成長やぐぐっと伸びる兆しが見てとれます。この育ちを2学期の後半の生活や行事にどのように繋げていくか、夏の学びをさらに生かして行けるよう努めていきます。

外部の研修参加は課題や新たな可能性への気付きになるのは勿論、あたりまえに実践していることの良さや大切さを再認識する機会にもなります。一泊二日で実施されたキリスト教保育連盟の関西部会(加盟総数 144 施設)の夏期研修のテーマは「幼児の主体的な学びと協働的な学び～協働的な学びの中にある、主体性とは？～」でした。これは参加した様々な研修にも、主体的な学びや協同的な学びは多かれ少なかれ通底していると感じましたが、これは信愛幼稚園が大切にして心がけてきていることです。信愛幼稚園のキリスト教保育の理念と、それが122年の長い歴史で継承され培われてきていることにプライドを持ちつつ、ウィークポイントを強化して行きたいと思いました。

先週、調理室からの火災を想定した避難訓練をしました。自然災害時の訓練として地震を想定した園内訓練は行っておりますが、ご家庭への引き渡し訓練を課題とし準備しております。その折にはご協力をお願いいたします。